



育苗箱専用殺虫殺菌剤

農林水産省登録
第23076号

ドクター Dr.オリゼ[®] スタークル[®] 箱粒剤 OS

ジノテフラン・プロベナゾール粒剤

育苗箱への処理で、いもち病と
水稻初期害虫から斑点米カメムシ類まで
同時に防除!!

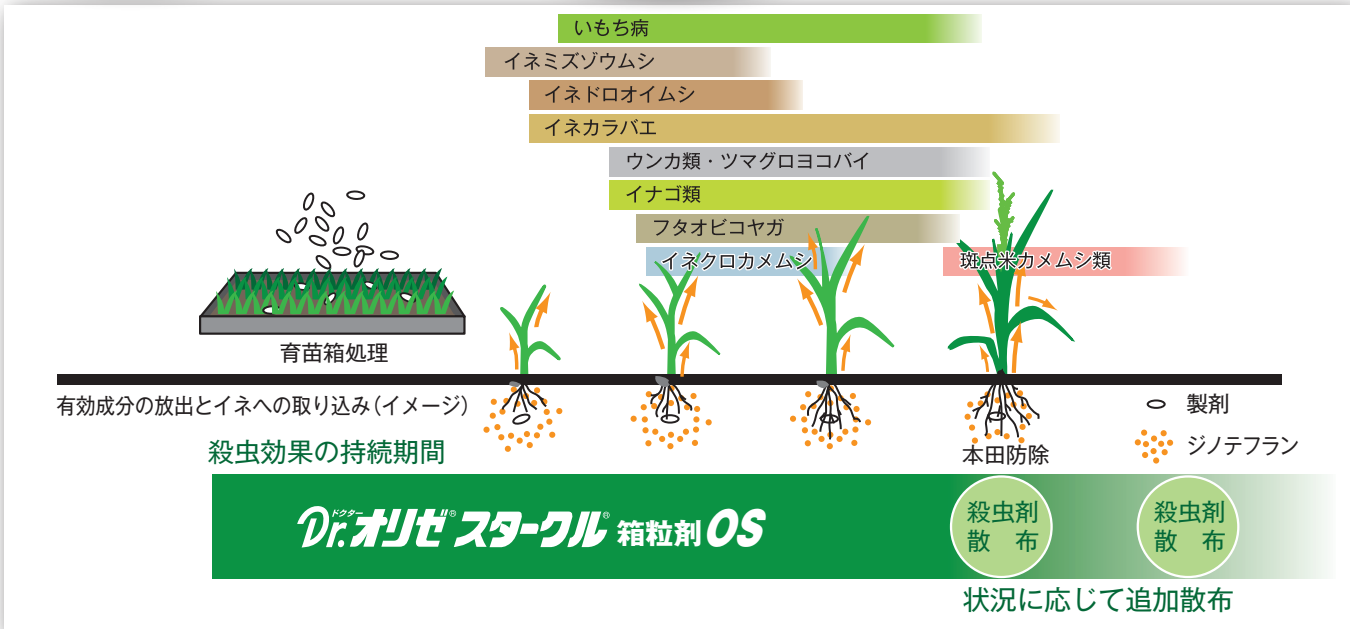
Dr.オリゼ・ORYZEMATE、スタークル・STARKLE は登録商標です。



プロベナゾールにより
いもち病に
安定した効果



ジノテフラン 12%配合により
初期害虫から
斑点米カメムシ類まで
効果を発揮



Dr.オリゼ[®]スタークル[®]箱粒剤 OS

農林水産省登録第 23076号

- 有効成分：ジノテフラン 12.0%
プロベナゾール 24.0%
- 人畜毒性(製剤)：普通物*

●適用病害虫の範囲及び使用方法 (2021年12月1日現在の登録内容)

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50g	移植当日	1回	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
	ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ツマグロヨコバイ フタオビコヤガ イネカラバエ イナゴ類 いもち病		移植3日前 ～ 移植当日				

1 育苗箱の苗の上から均一になるように散粒してください。



2 薬剤散粒後、軽く苗の上半分を払い、葉にひっかかっている薬剤を培土の上に落としてください。



3 最後に上から十分に灌水し、薬剤を培土の上に落ち着かせてください。



ご使用にあたってご留意いただきたい項目

項目	留意する点
●圃場の水管理	・減水深の大きな圃場では、十分な効果が得られなくなる恐れがあります。
●水田内に、ヒエやホタルイなどの雑草が多い場合 ●水田の周囲に、休耕田、高速道路ののり面、土手などの雑草地、あるいは草地がある場合	・出穂10日前までに草刈りなどの管理を行ってください。 ・雑草管理ができない場合は、本剤の使用はおすすめできません。
●割れ籾の多発が予想される場合 低温で籾の生育が悪く、かつその後の高温で登熟が進む場合は、割れ籾が発生しやすくなります。品種によっては割れ籾が発生しやすいものもあります。	・出穂14～21日後頃に、本田防除を行ってください。
●カメムシ類の発生が長引く場合 ●カメムシ類が多発する場合	・出穂14～21日後頃、状況に応じて本田防除をご検討ください。特に、本田でのカメムシ密度が低下しない場合は、本田防除を行ってください。
●カスミカメ類*以外のカメムシ類が発生する場合 *カスミカメ類は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、ムギカスミカメなどです。	・本剤のみでは効果不十分となる可能性がありますので必要に応じて本田防除を行ってください。

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の苗の上から所定量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とし、十分灌水してください。
- 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさけてください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用してください。
- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはいねに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。
- 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意し、移植後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさけてください。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけてください。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがありますが、その後回復するので通常の管理を維持してください。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
 - 夏期高温時の使用をさけてください。
 - 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
 - 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
 - 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は幼児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空き袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農薬用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
*本印刷物は2023年3月31日現在の資料、情報等に基づいて作成しておりますが、評価はあくまでも代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

DSO1B01F

取扱い



三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>